

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

								担当課	観光交流課
総合計画 政策の柱	市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	魅力ある観光と交流を創出する	取組の 基本方向	「魅力ある観光と交流を創出する」ため、市民におもてなしの心を定着させていくための「おもてなしの向上」や、特色ある地域資源を観光に生かすための「観光資源の活用促進」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民自らも誇りを持つことで、多くの人に宇都宮に訪れてもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。		

2 施策の現状と達成状況，課題の抽出

①施策名	観光資源の活用促進						④ 施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)			
	② 施策目標							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標				
② 施策目標	人・自然・文化など、本市の持つさまざまな観光資源が生かされ、多くの人が宇都宮に訪れています。						④ 施策の達成状況	指標① (総合計画に基づく指標)	年間入込客数(千人)	-----	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	-----	90.2%
③ 施策を取巻く環境	国・県等の動向	国においては、平成18年の観光立国推進基本法の制定以降、観光立国推進基本計画の策定や観光庁の発足をはじめとし、観光立国の推進に向けた観光地づくりなど様々な取組みがなされている。また、県においては、平成22年度に栃木県観光基本計画が策定された。				実績値		実績値	実績値	実績値	実績値	-----					
	外部意見 その他	東日本大震災による被害、自粛ムード、原発事故等の風評被害の影響により、来訪者の減少が懸念される。 観光スタイルの変化に伴い、新たな観光資源の開発や、体験型観光、イベント等の充実による既存資源の活用が求められている。				-----		-----	-----	-----	-----	-----	#DIV/0!				
						-----		-----	-----	-----	-----	-----	#DIV/0!				
						-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----		

⑤ 市民意識調査結果	市民の施策		市民の施策		⑥ 施策の評価	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	⑦ 現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を)	成果が見られる点
	優先して力を入れていくことが求められる領域	今後も力を入れていくことが求められる領域	見直し・効率化が求められる領域	重点的な取組が一段落したと考えられる領域								
高	95	90	65	60	●	●	●	●	●	●	●	●
中	85	80	55	50	●	●	●	●	●	●	●	●
低	75	70	45	40	●	●	●	●	●	●	●	●
低	65	60	35	30	●	●	●	●	●	●	●	●
低	55	50	25	20	●	●	●	●	●	●	●	●
低	45	40	15	10	●	●	●	●	●	●	●	●
低	35	30	5	0	●	●	●	●	●	●	●	●

3 今後の取組方針

取の	総論	各種観光事業においては、近隣市町との連携体制や市民団体等への支援体制を充実させていく必要がある。併せて、本市知名度向上のために、PR活動エリアを東北地方から中部地方まで広げ、積極的に展開していく。	➡	⑨ 政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> 産業観光などの新たな観光資源の開発や既存資源の魅力アップを図るとともに、滞在型観光を推進するため、近隣市町や市民団体等との連携を強化する。また、更なる誘客に向けて、PR活動エリアを東北地方から信越地方まで広げ、積極的に展開していく。 震災後の影響を払拭するためにも、観光資源やイベントの開催情報などの情報をマスコミを活用して広報宣伝活動を行うほか、県外でのキャンペーンやキャラバンに積極的に参加していく。 また、庁内関係課や関係団体と連携しながら、「ジャパンカップサイクルロードレースクリテリウム」や「スポレクエコとちぎ」などの全国的なイベントを活用し、来訪者に対して本市の魅力を伝えるPR活動を実施していく。 イベントにおいては、協賛金の減少などで運営費の削減が求められることから、事業が存続できるよう弾力的に内容を見直すようイベント運営の実行委員会等へ働きかけていく。
	重点事業	震災後の影響を払拭するためにも、観光資源やイベントの開催情報などの情報をマスコミを活用して広報宣伝活動を行うほか、県外でのキャンペーンやキャラバンに積極的に参加していく。また、庁内関係課や関係団体と連携しながら、「ジャパンカップサイクルロードレースクリテリウム」や「スポレクエコとちぎ」などの全国的なイベントを活用し、来訪者に対して本市の魅力を伝えるPR活動を実施していく。			
	見直し事業	イベント開催においては、常に新しい魅力を創出するなど来場者が多く訪れるような内容の見直しを図っていく。			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	観光宣伝事業 担当課 観光交流課	来訪者、市民、市民以外	S59	観光パンフレット等作成部数	85,000	90,000	9,500	9,886	A	継続	来訪者の増加には、各種観光パンフレット等の発行部数を増やす必要があるため、各団体にて作成しているパンフレットの統合や、紙以外の媒体についても検討していく。
					72,100	75,000					
2	(財)大谷地域整備公社運営費補助金 担当課 産業政策課	(財)大谷地域整備公社	H2	観測システムによる常時監視	1	1	31,047	29,494	A	継続	民生の安定のためには欠かすことのできない組織であり、県と連携を密にしながら、公社事業の着実な推進を支援していくとともに、公社の役割を含めた管理体制のあり方を検討していく。
					1	1					
3	広域観光宣伝事業 担当課 観光交流課	各種協議会	H3	加盟団体数	5	5	849	740	A	継続	観光スタイルが変化していく中、効果的に来訪者を確保するため、各種団体に加盟し観光PR活動の充実を図る必要がある。
					5	4					

様式 2

4	首都圏キャンペーン参画事業		主に首都圏在住者	H21	参画イベント・キャンペーン数	5	6	281	461	B	見	<p>マスメディア活用による戦略的な情報露出、観光資源や名産品等の本市の魅力を伝える観光セールスを一層強化するため、平成23年度から、首都圏マスメディア活用事業と併せて、「観光セールス強化事業」へと統合した。今後は、首都圏キャンペーンやイベントに参画することにより、首都圏在住者等に直接観光PRが出来る。関係団体や関係課等と連携し、より効果的なPRや内容の充実を図るため、対象エリアの拡大など事業の見直しを検討していく。</p>
	担当課	観光交流課				5	6					
5	ふるさと宮まつり開催委員会事業補助金		ふるさと宮まつり開催委員会	S50	来場者数	550,000	600,000	11,400	13,123	B	継続	<p>本市最大規模のイベントであり、集客効果も高いことから、イベントが継続されるよう開催委員会を支援していく必要がある。また、誘客を図るため積極的にPRをしていく。</p>
	担当課	観光交流課				550,000	550,000					
6	うつのみや花火大会実行委員会補助金		うつのみや花火大会実行委員会	S59	来場者数	300,000	300,000	2,000	2,000	B	継続	<p>集客効果が非常に高いイベントであるため、花火大会が継続されるよう実行委員会を支援していく必要がある。また、誘客を図るため積極的にPRをしていく。</p>
	担当課	観光交流課				350,000	350,000					
7	宇都宮ハルーンフェスティバル活用事業		とちぎ熱気球選手権実行委員会	H18	宇都宮会場来場者数	100,000	100,000	500	500	B	継続	<p>ハルーン大会は、年々ファンが増加しており集客力の高いイベントとして成長してきており、引き続き関係自治体と連携しながら実行委員会を継続的に支援していくが、より多くの来場者が訪れるよう内容を充実させていく必要がある。また、誘客を図るため関係自治体と連携し積極的にPRしていく。</p>
	担当課	観光交流課				100,000	97,000					
8	フェスタ in 大谷交付金		フェスタ in 大谷実行委員会	H13	来場者数	30,000	30,000	3,500	3,500	B	継続	<p>来訪者が減少したため、実行委員会とともに多くの来場者が訪れるようイベント内容の充実に取り組んでいく。また、誘客を図るため積極的にPRしていく。</p>
	担当課	観光交流課				28,000	22,000					
9	インディ活用事業		インディ・ジャパン300 0 プレイベント実行委員会	H17	プレイベント企画及び実施件数	8	8	500	500	B	継続	<p>インディジャパンの開催に合わせ、ツインリンクもてぎには、多くのモーターファンや関係者が訪れており、このイベントを活用し観光宣伝を行うことは誘客効果が期待できることから、実行委員会とともに誘客効果の高い内容のプレイベント開催やインディジャパン開催時には、積極的な本市への誘客PRに取り組む。</p>
	担当課	観光交流課				6	5					
10	大谷観光景観形成事業補助金		地元住民団体	H20	参加者数	100	100	2,000	1,988	C	継続	<p>地域住民が大谷奇岩群に愛着を持って、観光資源として良好に再生・保全していけるよう、ボランティア参加者数の増加に向けた支援体制を充実させていく必要がある。</p>
	担当課	観光交流課				83	83					
11	まちかど観光体験館整備事業		まちかど観光体験館設置者(事業主)	H18	まちかど観光体験館設置件数	1	1	2,084	34	C	継続	<p>体験型観光を促進する上で、まちかど観光体験館の増加は効果的であるため、整備を希望する事業者の掘り起こしなどを積極的に行っていく必要がある。</p>
	担当課	観光交流課				1	0					
12	大谷石採石場跡地有効利用共同研究事業		地域及び地域住民	H21	有効利用に向けた基礎研究	1	1	4,279	1,575	C	継続	<p>土木学会等での発表により、大谷に対する民間事業者等の理解を深めるとともに、共同研究者を通して活用事例や課題解決策等を用い、民間事業者への働きかけを行っていく。</p>
	担当課	産業政策課				1	1					
13	北関東交流フェア負担金		北関東自動車道沿線で交流フェアなどの連携事業を開催する自治体	H14	参加イベント数	5	5	19	15	C	継続	<p>沿線自治体による連携事業への民間事業者の参加促進により、本市の地域資源のPRに一定の効果があるが、一層効果的・効率的に本市の魅力発信などを推進するため、沿線自治体との意見交換や情報交換を通し、積極的にPR活動に取り組んでいく。</p>
	担当課	政策審議室				4	3					
施 策 事 業 費 合 計								59,577	63,816			